

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

H その他

その他の施設

(コミュニティバス車庫)

令和5年3月改訂

魚津市

(所管部署：都市計画課)

目 次

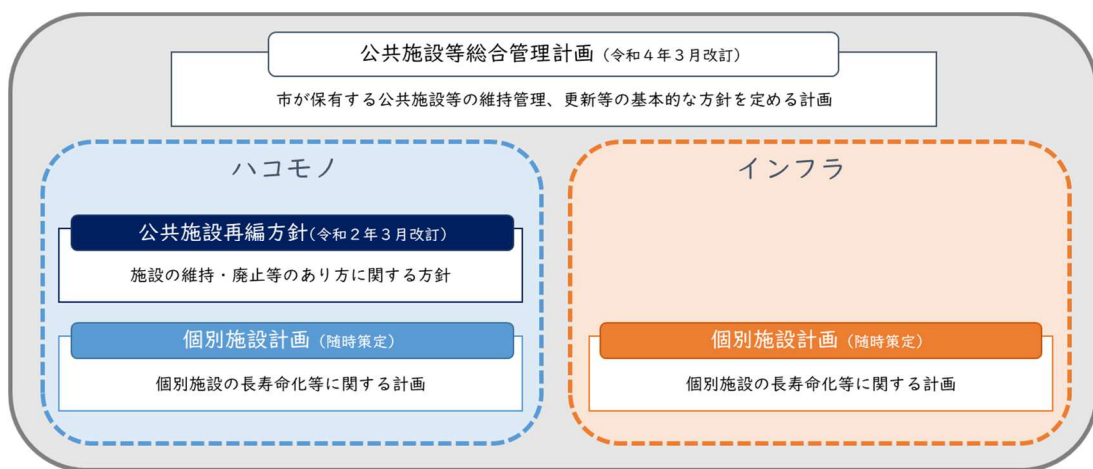
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 5
3. 4	対策内容と実施時期	P 7
3. 5	対策費用	P 8

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和元年5月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「コミュニティバス車庫」の施設類型の全施設とします。

1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況			
									耐震化改修	長寿命化改修		
										屋根	外壁	他
1	松倉地区コミュニティバス車庫	H2	30	S/1	42.65	429 (429)	62.0%	対象外				
2	片貝地区コミュニティバス車庫	H12	21	W/1	43.00	287	100.0%					
3	上野方地区コミュニティバス車庫	H18	15	S/1	38.86	152	48.4%					
4	天神地区コミュニティバス車庫	H20	13	S/1	38.86	天神公民館に含む	41.9%					
5	村木地区コミュニティバス車庫	H26	7	S/1	134.27	544	22.6%					
	合計				297.64	1,412						

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和3年度末時点

2. 2 位置図



2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）			収支（千円）											
		R1	R2	R3	R1				R2				R3			
					収入	支出	収支	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支	【参考】 減価償却費
1	松倉地区コミュニティバス車庫	/	/	/	0	22	▲ 22	79	0	16	▲ 16	79	0	22	▲ 22	79
2	片貝地区コミュニティバス車庫	/	/	/	0	42	▲ 42	0	0	42	▲ 42	0	0	21	▲ 21	0
3	上野方地区コミュニティバス車庫	/	/	/	0	26	▲ 26	142	0	22	▲ 22	142	0	29	▲ 29	142
4	天神地区コミュニティバス車庫	/	/	/	0	33	▲ 33	129	0	35	▲ 35	129	0	37	▲ 37	129
5	村木地区コミュニティバス車庫	/	/	/	0	50	▲ 50	549	0	29	▲ 29	549	0	37	▲ 37	549
	合計	/	/	/	0	173	▲ 173	899	0	144	▲ 144	899	0	146	▲ 146	899

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

市民バスは市民の日常生活に必要な交通手段の確保及び魚津市に来訪される方々の利便性の確保を目的としています。バスの車庫は各地区のコミュニティバスとして運行していた時から設置しています。

3.2 現状と課題

○現状

松倉・上野方・天神・経田・道下・坪野・市街地巡回ルート及び片貝地区スクールバスのバス車両を各車庫で格納しており、現時点で劣化等は見受けられません。

○課題

冬期間のシャッター故障による修繕が必要になる可能性があります。

3.3 今後の考え方

①対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしませんが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

②保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

③施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとします。

④社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化対策改修に併せ、ユニバーサルデザイン化、施設の脱炭素化に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24		
1	松倉地区コミュニティバス車庫	長寿命化により使用期間を延伸																					
2	片貝地区コミュニティバス車庫	長寿命化により使用期間を延伸																					
3	上野方地区コミュニティバス車庫	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																	③	長寿命化により使用期間を延伸			
4	天神地区コミュニティバス車庫	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																	③	長寿命化			
5	村木地区コミュニティバス車庫	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																					

※ ③は、減価償却資産の耐用年数（バス車庫（鉄骨造）は31年。片貝は木造のため17年。）を表しています。

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すのですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

3. 5 対策費用

計画期間における概算費用は、「コミュニティバス車庫」の施設類型全体で約3千万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。